

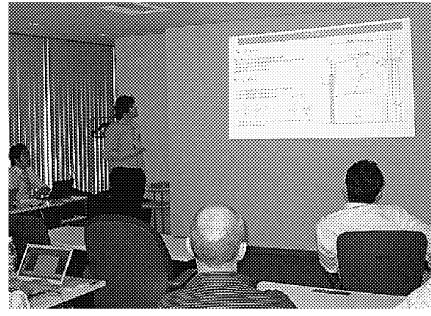
5月半ば、風力発電国

内最大手のユーラスエナジー・ホールディングス（東京・港）本社。欧米や韓国で運営する発電所から、メンテナンスに携

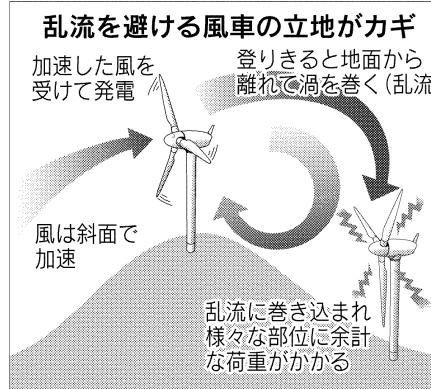
エネルギー進化論

第3部 風の世紀へ ②

壊さず風車を回せ



ユーラスエナジーは海外拠点のメンテナンス担当者を招いて課題を議論した（16日、東京都港区のユーラス本社）



風況解析技術やメンテナンス

高効率発電へ磨く

する——。日本側の担当者と2日間、日々の業務で抱える課題をぶつけ合った。

狙いは「様々な条件でのメンテナンス技術を社内に蓄積すること」（清水正己社長）。故障を減らし、稼働率を高めることが壳電収入に直結する

からだ。2014年をめどに国内の担当者を2人程度、ノルウェーの風力発電所に駐在させ、現地でメンテナンス業務を担わせることも検討する。

力発電は1キロワットあたり23・1円の買い取り価格

が設定された。かつての

新エネルギー等電気利用

で構成する自動車には車

タップとCTCの担当者

（三重県津市、伊賀市）

検があるが、風力発電機

が組み、外観から増速機

でも日本製鋼所製の風車

と発電機が落下する事故

内田准教授はユーラス

など大手事業者が導入す

る風況解析ソフト「リア

ムコンパクト」で、風車

のサンプル調査など、1

回すため、メンテナンス

技術を高めることが一段

と重要になっている。

1万～2万点の部品で組み立てられる風力発電

に乗り出したのが伊藤忠テクノソリューションズ（CTC）だ。

「まさか風車に登る日

が回りすぎたためとみら

れています。しかし、九州

大学応用力学研究所の内

部品が摩耗し、風車

で動かすことができる機

能を開発。今夏のバージ

ョンアップ版から利用で

きるようになる。事業者

の位置を数十センチの単位

で動かすことができる機